



## 2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月15日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

上場取引所 東

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝谷 博司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 新述 孝祐

TEL 03-5400-5444

定時株主総会開催予定日 2022年3月24日

配当支払開始予定日 未定

有価証券報告書提出予定日 2022年3月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	15,218	4.2	13		23		294	
2020年12月期	14,609	23.3	315		268		2,085	

(注) 包括利益 2021年12月期 293百万円 ( %) 2020年12月期 2,242百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	22.05		4.9	0.2	0.1
2020年12月期	156.58		29.9	1.7	2.2

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	14,704	6,098	41.5	456.58
2020年12月期	14,546	5,900	40.6	442.11

(参考) 自己資本 2021年12月期 6,098百万円 2020年12月期 5,900百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	466	595	491	4,798
2020年12月期	371	111	1,040	4,227

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		0.00		8.00	8.00	106		1.3
2021年12月期		0.00						
2022年12月期(予想)								

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い、適正かつ合理的な算定が困難であることから2022年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。

今後、動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	13,869,200 株	2020年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	2021年12月期	512,120 株	2020年12月期	522,880 株
期中平均株式数	2021年12月期	13,353,778 株	2020年12月期	13,317,258 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	9,999	16.1	44	703.7	103	160.4	185	
2020年12月期	8,609	18.7	5		39		2,062	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	13.89	
2020年12月期	154.88	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年12月期	13,059		5,968		45.7		446.84	
2020年12月期	12,790		5,885		46.0		440.98	

(参考) 自己資本 2021年12月期 5,968百万円 2020年12月期 5,885百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	4
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(セグメント情報等)	11
(減損損失)	13
(1株当たり情報)	14
(追加情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、引続き経済活動は制限され、厳しい状況となりました。一旦は再開された経済活動も、新型コロナウイルス感染に加えて新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大の懸念も広がり、先行きは不透明な状況が続いております。

コーヒー業界においても、新型コロナウイルス感染の影響が継続したことにより、感染防止対策のための活動自粛や、外食需要の低迷、巣ごもり消費による内食へのシフトなど食の消費行動における変化に伴い、新しい生活様式が定着してきております。

これにより、当社グループにおいては、事業活動に対して一定の影響を受けております。

巣ごもり消費によって個人消費が回復する傾向にある中、業務用事業、家庭用事業においては新しい生活様式を踏まえた営業提案を行っておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の前の状況に戻るまでには至らず、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、2020年8月31日に「2020年～2024年中期経営計画(骨子) ResilientPlan2020」を策定し開示しております。このレジリエントプランに基づき、コロナショックへの環境適応のために既存方針の加速を決断し、構造改革の推進及び一杯抽出事業への設備投資、業務用事業におけるプレゼンスの向上、工場再編によるコスト優位性をレジリエントプランにおける成長ドライバーと位置付け、レジリエントカンパニーを目指し取組みを始めております。

また、政府や各自自治体のガイドラインに基づき、引続き従業員の感染拡大の抑制に取り組み、お客様へ安全・安心な製品の安定した供給を徹底する一方、売上減少が著しい中、業務効率化を図り、経費削減に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は15,218百万円(前年同期比4.2%増)となりました。営業利益は13百万円、経常利益は23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は294百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度より627百万円増加し、8,832百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が570百万円、受取手形及び売掛金が341百万円増加し、商品および製品が77百万円、原材料及び貯蔵品が97百万円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度より469百万円減少し、5,872百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が528百万円、無形固定資産が21百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、157百万円増加し、14,704百万円となりました。

#### ② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度より889百万円増加し、5,025百万円となりました。主な要因は、短期借入金343百万円増加、未払金が370百万円、未払法人税等が54百万円及び未払消費税等が52百万円増加したことによります。固定負債は、前連結会計年度より929百万円減少し、3,580百万円となりました。主な要因は長期借入金725百万円、繰延税金負債が140百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度より40百万円減少し、8,605百万円となりました。

#### ③ 純資産の部

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度より198百万円増加し、6,098百万円となりました。この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は41.5%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### ① キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より570百万円増加し、4,798百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、466百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が66百万円、減価償却費287百万円、売上債権の増加341百万円、仕入債務の増加40百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は595百万円となりました。これは主に、投資計画に基づいた有形固定資産の取得による支出が1,189百万円ありましたが、有形固定資産の売却による収入1,800百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は491百万円となりました。これは主に、配当金の支払106百万円及び長期借入金の返済による支出381百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フロー指標のトレンド

主要項目	当連結会計年度 (2021年12月31日)
自己資本比率 (%)	41.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	92.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	8.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	15.5

- ・自己資本比率 : 自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産  
株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)によって算出しております。
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー  
有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い  
利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

## (4) 今後の見通し

次期の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、引続き景気先行き不安も払拭されず、節約志向は継続するものと考えられます。また、原材料価格の上昇は続き、人件費や物流コストも増加することが予想されます。

当グループは、「2020年～2024年中期経営計画(骨子) ResilientPlan2020」に基づき、構造改革の推進及び一杯抽出事業への設備投資、業務用事業におけるプレゼンスの向上、工場再編によるコスト優位性をレジリエントプランにおける成長ドライバーと位置付けレジリエントカンパニーを目指してまいります。

次期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い、適正かつ合理的な算定が困難であることから、2022年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。

今後は、動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,227,654	4,798,022
受取手形及び売掛金	2,490,892	2,832,303
商品及び製品	478,677	401,318
仕掛品	16,208	12,425
原材料及び貯蔵品	801,070	703,529
その他	191,231	85,187
貸倒引当金	△395	△478
流動資産合計	8,205,340	8,832,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,754,652	4,040,349
減価償却累計額	△2,908,246	△2,343,854
減損損失累計額	△188,175	△10,935
建物及び構築物(純額)	2,658,230	1,685,559
機械装置及び運搬具	5,808,771	5,217,101
減価償却累計額	△4,627,473	△3,231,551
減損損失累計額	△155,481	△246
機械装置及び運搬具(純額)	1,025,815	1,985,303
土地	1,942,455	1,639,318
リース資産	15,740	12,741
減価償却累計額	△8,232	△6,583
減損損失累計額	△7,058	△6,158
リース資産(純額)	449	0
建設仮勘定	330,628	125,143
その他	491,244	416,156
減価償却累計額	△391,334	△328,220
減損損失累計額	△57,095	△51,168
その他(純額)	42,814	36,766
有形固定資産合計	6,000,395	5,472,091
無形固定資産		
ソフトウェア	90,957	69,490
無形固定資産合計	90,957	69,490
投資その他の資産		
投資有価証券	84,071	78,539
繰延税金資産	—	123,219
その他	167,366	130,182
貸倒引当金	△1,435	△1,435
投資その他の資産合計	250,002	330,505
固定資産合計	6,341,355	5,872,087
資産合計	14,546,695	14,704,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,203,568	3,244,560
短期借入金	381,250	725,000
未払金	392,234	762,679
未払法人税等	19,728	74,632
未払消費税等	—	52,704
賞与引当金	30,240	34,889
資産除去債務	—	18,987
その他	109,544	112,202
流動負債合計	4,136,566	5,025,656
固定負債		
長期借入金	4,006,250	3,281,250
繰延税金負債	140,214	—
役員退職慰労引当金	12,829	8,772
退職給付に係る負債	286,929	237,081
資産除去債務	16,380	11,330
その他	46,982	41,698
固定負債合計	4,509,585	3,580,131
負債合計	8,646,152	8,605,788
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,008,156	2,509,743
資本剰余金	1,302,056	3,694,280
利益剰余金	110,195	404,648
自己株式	△510,926	△500,421
株主資本合計	5,909,481	6,108,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,938	△9,641
その他の包括利益累計額合計	△8,938	△9,641
純資産合計	5,900,542	6,098,608
負債純資産合計	14,546,695	14,704,396

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	14,609,726	15,218,566
売上原価	11,880,010	12,821,974
売上総利益	2,729,716	2,396,591
販売費及び一般管理費	3,045,137	2,382,660
営業利益又は営業損失(△)	△315,421	13,930
営業外収益		
受取利息	613	262
受取配当金	1,148	547
助成金収入	75,219	32,019
その他	21,585	24,940
営業外収益合計	98,566	57,769
営業外費用		
支払利息	24,878	30,259
持分法による投資損失	20,029	4,339
その他	6,651	13,332
営業外費用合計	51,558	47,931
経常利益又は経常損失(△)	△268,413	23,769
特別利益		
固定資産売却益	—	386,862
関係会社株式売却益	15,705	—
投資有価証券売却益	16,294	—
特別利益合計	31,999	386,862
特別損失		
固定資産除却損	682	188,693
固定資産売却損	—	76,305
減損損失	2,170,039	—
特別退職金	—	78,684
特別損失合計	2,170,722	343,683
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,407,136	66,948
法人税、住民税及び事業税	11,611	35,617
法人税等調整額	△187,672	△263,122
法人税等合計	△176,060	△227,504
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,231,075	294,453
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	145,823	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,085,252	294,453



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,231,075	294,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,817	△703
その他の包括利益合計	△11,817	△703
包括利益	△2,242,892	293,749
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,097,069	293,749
非支配株主に係る包括利益	△145,823	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,966,498	1,260,398	2,393,043	△603,488	8,016,453
当期変動額					
新株の発行	41,657	41,657	—	—	83,315
剰余金の配当	—	—	△106,012	—	△106,012
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△2,085,252	—	△2,085,252
自己株式の取得	—	—	—	△266	△266
自己株式の消却	—	—	△92,827	92,827	—
その他	—	—	1,243	—	1,243
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	41,657	41,657	△2,282,848	92,561	△2,106,972
当期末残高	5,008,156	1,302,056	110,195	△510,926	5,909,481

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	2,879	2,879	8,019,332
当期変動額			
新株の発行	—	—	83,315
剰余金の配当	—	—	△106,012
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△2,085,252
自己株式の取得	—	—	△266
自己株式の消却	—	—	—
その他	—	—	1,243
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△11,817	△11,817	△11,817
当期変動額合計	△11,817	△11,817	△2,118,789
当期末残高	△8,938	△8,938	5,900,542

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,008,156	1,302,056	110,195	△510,926	5,909,481
当期変動額					
新株の発行	5,665	5,665	—	—	11,330
剰余金の配当	—	△106,770	—	—	△106,770
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	294,453	—	294,453
自己株式の取得	—	—	—	△243	△243
自己株式の消却	—	△10,748	—	10,748	—
減資	△2,504,078	2,504,078	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	△2,498,413	2,392,224	294,453	10,505	198,769
当期末残高	2,509,743	3,694,280	404,648	△500,421	6,108,250

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△8,938	△8,938	5,900,542
当期変動額			
新株の発行	—	—	11,330
剰余金の配当	—	—	△106,770
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	294,453
自己株式の取得	—	—	△243
自己株式の消却	—	—	—
減資	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△703	△703	△703
当期変動額合計	△703	△703	198,065
当期末残高	△9,641	△9,641	6,098,608

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,407,136	66,948
減価償却費	409,601	287,228
減損損失	2,170,039	—
のれん償却額	38,939	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	83
賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,969	4,648
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,975	△53,905
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,294	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△15,705	—
持分法による投資損益(△は益)	20,029	4,339
受取利息及び受取配当金	△1,762	△809
支払利息	24,878	30,259
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△310,557
有形固定資産除却損	682	183,908
売上債権の増減額(△は増加)	754,671	△341,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	230,916	178,682
仕入債務の増減額(△は減少)	△464,955	40,991
その他	△247,835	372,601
小計	458,063	463,008
利息及び配当金の受取額	2,180	811
利息の支払額	△21,611	△30,161
法人税等の還付額	35,697	41,889
法人税等の支払額	△102,530	△8,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,798	466,740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△401,662	△1,189,890
有形固定資産の売却による収入	—	1,800,000
無形固定資産の取得による支出	△65,739	△10,797
投資有価証券の取得による支出	△1,721	△1,256
投資有価証券の売却による収入	28,795	1,490
貸付金の回収による収入	100,397	333
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	216,002	—
その他	12,060	△4,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,867	595,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3,415	△3,466
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△350,000	△381,250
自己株式の取得による支出	△266	△243
配当金の支払額	△106,012	△106,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,040,306	△491,730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,300,236	570,367
現金及び現金同等物の期首残高	2,927,417	4,227,654
現金及び現金同等物の期末残高	4,227,654	4,798,022

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月24日開催の第49期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少を決議しました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が2,504百万円、資本準備金が743百万円減少しました。

また、2021年3月24日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことを決議し、2021年4月23日に払込手続が完了いたしました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が5百万円、資本準備金が5百万円増加しました。

なお、同日付で新株式と同数の自己株式11,000株の消却を実施いたしました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本剰余金及び自己株式が10百万円減少しました。

(当連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コーヒー関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額は、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)MCアグリアライアンス	3,449,384	コーヒー関連事業
アサヒ飲料(株)	1,636,820	コーヒー関連事業

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額は、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)MCアグリアライアンス	3,106,014	コーヒー関連事業
ユーシーシー上島珈琲(株)	1,757,058	コーヒー関連事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、コーヒー関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、コーヒー関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## (減損損失)

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当連結会計年度において、以下の資産グループの減損損失を計上しております。

## (1) 減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類	金額(千円)
東京都千代田区等	コーヒー関連事業用資産 (アートコーヒー事業)	のれん	222,528
		顧客関連資産	920,550
		土地	94,000
		その他有形固定資産	380,413
		その他無形固定資産	44,631
東京都港区等	コーヒー関連事業用資産 (キューリグ関連事業)	のれん	439,450
		有形固定資産	43,549
		その他無形固定資産	24,918
合計			2,170,039

## (2) 減損損失の認識に至った経緯

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえてキューリグ関連事業及びアートコーヒー事業の今後の事業計画の見直しを行い、将来収益に関する不透明感が高まったことを踏まえて、回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能価額まで減損損失を計上しております。なお、これらの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額については合理的に算定された価額に基づいております。

## (3) 資産のグルーピングの方法

当社グループは、原則として継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基準としてグルーピングを行っております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	442.11円	456.58円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△156.58円	22.05円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△2,085,252	294,453
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△2,085,252	294,453
普通株式の期中平均株式数(株)	13,317,258	13,353,778

## (追加情報)

会計上の見積を行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当社グループの事業活動及び収益確保に対して、影響を受けております。

前連結会計年度に行った会計上の見積りの前提となる仮定を大きく変更する状況には至っていないと判断しておりますが、新型コロナウイルス感染症が社会、経済活動に与える影響は依然として不透明な状況が続くものと考えられ、今後の広がり方、収束時期等を予想することは困難なことから、当影響が継続するとの仮定を置いて、会計上の見積りを行っております。

上述の仮定が見込まれなくなった場合には、当社グループの財政状態および経営成績に少なからず影響を及ぼす可能性があります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。